第二講・ガラスの小びん（物語文）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〔父の自慢は、高校野球の選手として甲子園に出場したことであり、その時持ち帰った「甲子園の土」をとても大切にしていた。〕

小学校六年生のとき、わたしは、ひどく父からしかられたことがあって、①甲子園の土を捨てた。たぶん、しかられた理由は、わたしの心構えがあまいとか、真剣味が足りないとか、そういったことであったと思うが、わたしの父への小さな反発が一気に爆発して、ガラスの小びんを持ち出すと、中の土を、それこそぱっと捨てた。㋐

どんなに値打ちがあり、どんなにありがたい土でも、庭の土に混じってしまうと、すばらしさを証明することはできなくなり、わたしは、空っぽのびんを手にしたまま、②笑いだしたい気持ちになっていた。これでもう、父がえらそうに見えなくなると思うと、心が晴れ晴れとしてくるのだった。㋑

しかし、それからが大変だった。いい気持ちになったのは、ほんの一瞬のことで、③とんでもないことをしてしまったという後悔がおそってきて、わたしは、庭の土の中から、甲子園の土をより分けようと必死になったが、むだな作業だった。㋒

父がどんなにおこるだろう、ということが気になった。そして、父の心――ほこりや、自信や、かがやかしい思い出まで捨ててしまったと思うと、大変な罪をおかしてしまったような気にさえなった。

㋓

その日の夜、父は、意外なことに、わたしをおこらなかった。

「そうか。捨ててしまったのか。」

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

とだけ言い、なぜか［　　］顔をしていた。

わたしは、ごめんなさいと言い、空っぽのガラスの小びんをおしやると、父は、赤い文字で「甲子園の土」と書いたラベルをつめてはがし、わたしに返してきた。

「おこらない。その代わり、おまえがこれに何かをつめるんだ。④お父さんの甲子園の土に代わるものをつめてみせてくれ。」

それから、もう何年もたつ。しかし、ガラスの小びんはまだ空っぽのままである。まだなのかと、父の声が聞こえる気がする。

わたしがほこりとともにこれにつめるものは、月の石なのか、南極のこけなのか、それとも、わたしのあせのしずくなのか、まだ決められない。

〈阿久（あく）悠（ゆう）「ガラスの小びん」より〉

---

(1) ――線①「甲子園の土を捨てた」とありますが、そのような行動をとってしまったのは「わたし」のどのような思いの表れですか。その思いを、文中から五字でぬき出しなさい。

［　　　　　］

(2) ――線②「笑いだしたい気持ち」とありますが、このときの「わたし」の気持ちを説明した次の文の［ a ］・bにあてはまる言葉を、それぞれ五字以内でぬき出しなさい。

これからは父のことが［ a ］に見えなくなるという［ b ］とした気持ち。

a ［　　　　　］

b ［　　　　　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(3)　――線③「とんでもないことをしてしまった」とありますが、これについて次の問いに答えなさい。

㋐「とんでもないこと」を別の言葉で何と表現していますか。文中から四字でぬき出しなさい。

㋑そうしたことで、父に対してどんなことをしてしまったと思ったのですか。文中の言葉を使って答えなさい。

(4)　この文章には次の文がぬけています。この文を入れるのにふさわしいところを文中の㋐～㋓から一つ選び、記号で答えなさい。

わたしは、庭土の混じった土をびんにつめ、そして、また捨て、ここにつまっていたものはなんだったのだろうかとふるえた。

(5)　□にあてはまる言葉としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　暗い　　イ　悲しい

ウ　明るい　　エ　つらい

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(6)　――線④「お父さんの甲子園の土に代わるもの」とは、「わたし」にとってどのようなものなのですか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　自分のかがやかしい成功を収（おさ）めたもの。

イ　自分の一生の思い出となるようなもの。

ウ　自分では買えないような高価なもの。

エ　自分の自信となりほこれるようなもの。

□

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講・確認テスト

次の漢字の部首を選びなさい。

１　起
ア　しんにょう　イ　そうにょう
ウ　えんにょう　エ　れんが

２　雪
ア　うかんむり　イ　たけかんむり
ウ　くさかんむり　エ　あめかんむり

３　京
ア　れっか　イ　おおがい
ウ　なべぶた　エ　ごんべん

４　助
ア　ちから　イ　りっしんべん
ウ　まだれ　エ　おおがい

５　社
ア　ごんべん　イ　しめすへん
ウ　いとへん　エ　りっとう

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　ガラスの小びん（物語文）

一題目

(1) 小さな反発
(2) a えらそう
　b 晴れ晴れ
(3) ㋐大変な罪
　㋑父のほこりや、自信や、かがやかしい思い出まで捨ててしまった。
(4) ㋓
(5) ウ
(6) エ

〈確認テストの解答〉
1 イ　2 エ　3 ウ　4 ア　5 イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。